様式1　提案書

|  |
| --- |
| ・様式1の情報は採択後に一般に公開される予定です。A4用紙2～3枚程度で記載ください。・(a)～(j)の項目はe-Radへ直接入力いただく必要がある項目です。詳細は、公募要領の第5章を参照ください。・日本国内並びに相手国の協力機関が複数参画する場合は、(f)および(h)の全ての機関名及び各機関の役割を次頁の実施体制概念図に明確に示してください。 |

提案課題の該当する分野に１つチェックを付けてください。

□環境・エネルギー　□生物資源　□防災

|  |  |
| --- | --- |
| (a) 提案課題名（日本語） | 提案課題名にサブタイトルはつけないでください。 |
| （英　語） |  |
| (b) 研究期間 | 2020年4月から2021年3月 |
| (c) 研究費総額 | 百の位で四捨五入して千円単位で記載ください。総額　　　　千円（間接経費込) |
| (d) 研究代表者名及び役職 | 研究代表者名と役職を記載ください。 |
| (e) 研究代表者所属名 | 研究代表者の所属機関名、専攻/研究室まで記載ください。 |
| (f) 国内参画機関名 | 参画する研究者**全ての所属機関名**、専攻/研究室を記載ください。 |
| (g) 相手国名 | 国名を日本語又は英語で記載ください。（相手国が複数の場合は全ての国を記載ください。） |
| (h) 相手国協力機関名 | 相手国の協力機関名を日本語・英語併記で記載ください。日本語の対訳がない場合は、英語名のみで構いません（英語限定）。 |
| (i) 研究課題の目的 | （250字以内）※英語で記載する場合は、日本語の対訳を併記ください。 |
| (j) 研究課題の概要 | （250字以内）※英語で記載する場合は、日本語の対訳を併記ください。 |

（次ページへ続く）

（前ページより続く）

**実施体制概念図**

|  |
| --- |
| 日本側研究機関と相手国機関の役割分担と連携体制が明確に示されるよう留意いただき、研究課題の実施体制を図表等で記入ください。なお、下記の図は一例であり、必ずしも外部支援機関を含める必要はありません。相手国協力機関○○大学・○○研究の調査分析システムの構築【研究参画機関】相手国協力機関△△研究所・△△研究の調査分析相手国協力機関○○省・研究成果の普及○共同研究機関○○研究所（○○研究の調査分析を基に原因究明の方向性を検討） ◎研究代表機関△△大学（○○研究の調査結果よりデータ解析構築を取りまとめ）○共同研究機関（株）□□（△△のデータ構築とシミュレーション解析）協力機関（株）■■（機械化検討、社会実装）【外部支援機関】連携連携相手国企業 △△研究成果の社会実装（株）〇〇（データ解析に関する助言）※日本側の研究体制について、下記の分類記号を記入してください。　研究代表機関・・・◎　JSTと委託研究契約を結ぶ参画機関（共同研究機関）・・・○　JSTと委託研究契約を結ばない参画機関・・・（無し）※日本側の研究参画機関に含まれる全ての機関について、様式3に記載ください。・必要に応じて図や表も用いてください。なお、評価はモノクロ印刷で行いますので、モノクロ印刷でも識別できる図や表でお願いします。 |

様式2　研究課題構想

様式2は10.5ポイント以上の文字を使用し、A4用紙8ページ以内で記述してください。

なお、公平性の観点から、8ページを超えるものは、要件不備として評価の対象といたしません。また、8ページに収めるために元から様式にある図表や文字のサイズを小さくしたり、行間を狭くしたり、2ページ分を1ページに縮小（2in1）したりすることも認められません。

I　本研究提案の背景

・本研究構想が対象としている国際的な課題（未解決の科学技術上の問題、それに起因する経済社会上の不利益、国際的な動向等）、および本研究構想が、その課題の解決へ貢献するためにどのような役割を果たすか、社会実装に向けた障壁緩和の実現可能性も含めて記載ください。

・本研究構想が、相手国のどのようなニーズに対して貢献することが可能か、相手国の社会・経済や科学技術の背景、相手国の協力機関の体制、能力等を踏まえた現状と問題点、支援の必要性・有効性等も含めて具体的に記載ください。

II　本研究提案の目的

１. 目的

・本研究構想の具体的な成果目標、プロジェクト終了後の成果として最終的に目指す「もの」・「こと」、科学技術の発展や科学技術政策への貢献について具体的に記載ください。

・「第5期科学技術基本計画」等、我が国の主な科学技術政策の実現に関する貢献度等の観点も可能な限り含め記載ください。

２. 持続可能な開発目標（SDGs）への貢献

・本プログラムの研究課題には、国連が定めたSDGs（持続可能な開発目標）への積極的な貢献が期待されています。SDGsへの貢献について、17のSDGsのうち、最も関係する目標（複数可）を明記のうえ、それらへの貢献についてできるだけ具体的・定量的に記載してください。（数行程度）

・参考：https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000270588.pdf

III　本研究提案の内容

1. 実施計画(活動)

・研究題目ごとの活動が分かるように記載ください。

・研究のマイルストーン（研究の達成度の判断基準となる進捗目標）を含めて記載ください。

・（JST側との契約はありませんが）相手国の協力機関が行う予定の具体的な活動内容も可能な限り含めてください。

・社会実装に至るまでの計画（内容、時期、手段と実現の見通し）や、キャパシティ・ディベロップメント（我が国及び相手国の協力機関の組織、個人の能力開発、外部連携構築等）に関する計画（目標、活動）も含めてください。

・社会実装・普及の主体となりうる民間企業や相手国公的機関等の参画についても記載ください。

・研究成果を社会実装につなげるための必要な条件、社会実装にあたって現時点で予測される課題等とその解決策案も含めて記載ください。

（次ページへ続く）

（前ページより続く）

２．研究題目ごとの分担及び内容等について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 研究題目・活動 | リーダー氏名・所属 | 研究の目的及び内容 |
| 1. 研究題目1 |  |  |
| 1-1 研究活動1-1 |  |
| 1-2 研究活動1-2 |  |
| 2. 研究題目2 |  |  |
| 2-1 研究活動2-1 |  |
| 2-2 研究活動2-2 |  |
| 3. 研究題目3 |  |  |
| 3-1 研究活動3-1 |  |
| 3-2 研究活動3-2 |  |
| 3-3 研究活動3-3 |  |

３. 国際コーディネーターの活動内容

　 ・国際コーディネーター予定者（氏名・所属・役職）：

　 ・国際コーディネーターが担当する業務および渡航計画を含む活動計画を具体的に記載してください。

４. 日本側投入研究資源

・日本の研究従事者、日本からの在外研究員（専門家）派遣の人数、日本への招へい外国人研究員（研修員）受入の人数、主たる機材の内容と種類（日本国内機材、相手国側へ設置する機材を分けて）ならびに具体的な導入スケジュール（例：「●●年●●月頃に●●へ導入予定」）などを記載ください。

・相手国への出張・滞在理由および日本への研修員受入の目的と主な活動内容等も含めて記載ください。

５. 相手国側投入研究資源

・実証試験等を行うにあたり、相手国において投入予定の研究者、職員の人数や実験室の設備等について記載ください。

６. 研究基盤及び準備状況

（1）これまでの研究基盤

（1-a）これまでの研究の経緯と成果

・本研究構想を推進するために基盤となる、これまでの国内外の研究成果や研究提案者自身（及び必要に応じて研究参加者）のこれまでの研究の経緯と成果等を記載ください。

（1-b）論文・著書リスト（著者、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年）

・本研究実施体制に含まれる研究者が近年に学術誌等に発表した論文、著書等のうち、今回の提案に関連し重要と思われるものを中心に選んで、現在から順に発表年次を過去に遡ってプロジェクト全体で最大10件まで記入してください。

（1-c）関連特許リスト（出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日）

・近年に研究参加者が出願した特許のうち今回の提案に関連すると思われる重要なものを選んで、プロジェクト全体で最大10件まで記入してください。

（2）相手国の協力機関との準備状況（内諾・調整の状況）

・相手国の協力機関の選定理由、また、相手国の協力機関のインフラ整備状況等、相手国の協力機関の研究基盤及び相手国行政機関等との連携状況を記載ください。既に相手国の協力機関と協定を締結している場合には、協定の内容及び交流状況等を記載ください。

（3）倫理的配慮

・本研究が実施される国（相手国あるいは日本国）の倫理基準への適合性審査の要否と審査状況を記載ください。

（4）遺伝資源の取扱いについての検討・準備状況

・プロジェクトで相手国を含め海外の遺伝資源（関連する伝統的知識を含む）を取得又は利用する際は、国際ルール及び国内外の法令等※に照らして研究開発の推進上必要と判断される具体的な措置、相手国の協力機関及び関連省庁等との対応状況について記載してください。

※生物多様性条約、名古屋議定書、食料・農業植物遺伝資源条約（ITPGR）、並びに遺伝資源の提供国及び利用国の法令等が該当します。詳細はp.75やウェブサイト（https://www.jst.go.jp/global/iden.html）をご確認ください。

(5) 知的財産等の取扱いについての検討状況

・研究成果の帰属、研究成果の実施等についての相手国の協力機関との打ち合わせ状況を記載ください。

※研究成果の確実な確保を目的とした知財マネジメントにご留意ください。

（次ページへ続く）

（前ページより続く）

様式3　日本側研究実施体制

|  |
| --- |
| ・日本側から研究チームに参加予定の研究者の氏名、研究者番号、所属、役職、現在の専門、性別、年齢、エフォート、担当する研究題目、SATREPS、SICORP等関連課題への参加経験について記述してください。・日本側の参加者の要件は、国内の研究機関に所属していること、及び相手国機関のメンバーリストには入っていないことです。・種別欄には右記の分類記号を記入してください。　研究代表者・・・◎主たる共同研究者・・・○・本リストの研究代表者と主たる共同研究者は、様式2および5の研究代表者（研究代表機関）と主たる共同研究者（共同研究機関）と整合性をとるようにしてください。 |

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種別 | 氏名（研究者番号\*1） | 所属機関、部局、役職 | 現在の専門、性別 | 年齢※令和2年4月1日現在 | エフォート\*2  | 担当する研究題目 | 関連課題参加経験（ある場合は該当する研究課題名を明記） |
| ◎ | ○○○○○（XXXXXXXX） | △△大学△△△学部△△△学科教授 | 森林科学男性 |  | ○○％ | 研究全体の総括及び□□の×× |  |
| ○ | ○○○○○（XXXXXXXX） | □□大学准教授 | 水圏生命科学女性 |  | ○○％ | △△ |  |
|  | ○○○○○（XXXXXXXX） | ○○研究所主任研究員 |  |  | ○○％ | ☆☆ |  |
|  | 研究員A（XXXXXXXX\*3） | △△大学△△△学部△△△学科ポスドク |  | \*3 | ○○％ | □□の×× |  |

**1．日本側研究チームの研究参加者リスト**

\*1　e-Radに登録している研究者番号を記入ください。なお、JSTとの委託研究契約を予定している主たる共同研究者は、委託研究契約までに研究者番号を取得してください。

\*2　総合科学技術会議におけるエフォートの定義「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)」に従い記入してください。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育・医療活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。

\*3　応募段階で確定していない研究者について、研究者A等で記載することが可能です。その場合、研究者番号、所属機関また現在の役職等に関しては空欄としていただいて結構ですが、その他（年齢、エフォート、担当する研究の概要）についてはそのポストに想定される条件として記載してください。

**2．日本側研究代表者**

日本側研究代表者について下記内容につき、記載ください。

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名（フリガナ） |  |
| 研究者番号 | e-Radに登録している研究者番号を記載ください |
| 生年月日 | 西暦19　　年　　月　　日（2020年4月1日時点　　歳） |
| 所属機関名 |  |
| 所属機関コード | e-Radに登録している所属機関コードを記載ください |
| 部署　役職 |  |
| 学歴(大学卒業以降) | (記入例)平成◯◯年 ◯◯大学◯◯学部卒業平成◯◯年 ◯◯大学大学院○○研究科修士課程○○専攻修了(指導教官：○○○○教授)平成○○年 ◯◯大学大学院◯◯研究科博士課程○○専攻修了(指導教官：○○○○教授)  |
| 研究歴(主な職歴と研究内容)  | (記入例)平成◯◯年～◯◯年 ◯◯大学◯◯学部 助手○○教授研究室で◯◯◯◯◯について研究平成◯◯年～現在 ◯◯研究所 研究員○○博士研究室で◯◯◯に関する研究に従事 |
| 現職位における定年年齢（予定） |  才 |
| 本人連絡先 | 住所 | 〒 |
| TEL |  |
|  | FAX |  |
| E-mail |  |
| 事務連絡担当者 | 担当者氏名（フリガナ） |  |
| 所属機関名 |  |
| 部署 |  |
| 役職 |  |
| 住所 | 〒 |
| TEL |  |
| FAX |  |
| E-mail |  |

（次ページへ続く）

（前ページより続く）

様式4　他制度での助成等の有無

|  |
| --- |
| ・研究代表者及び主たる共同研究者が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等制度での助成等について、制度名ごとに、研究課題名、研究期間、研究費の額、役割、提案課題との相違点・関連性等を明記してください。・事実と異なる記載をした場合は、研究課題の不採択、研究の中止又は減額配分とすることがあります。 |

**研究代表者：氏名　○○　○○**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名(1) | 研究課題名 | ①研究費(2)(期間全体)②　〃　　(R2年度)（千円） | 研究期間 | 役割(3)(代表者/分担者） | エフォート(4) | ステータス（実施中/申請中） | 提案課題との相違点・関連性 |
| 持続可能開発目標達成支援事業（本提案課題） | ○○○○○ | ①50,000千円②50,000千円 | R2 | 代表 | 30% | (申請中） |  |
| 科学研究費補助金 基盤研究(S) | ○○○○○ | ①100,000千円②20,000千円 | H29－R4 | 代表 | 30％ | 実施中  | ○○○○○○○○○○ |
| 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム | ○○○○○ | ①100,000千円②25,000千円 | H27－R2 | 分担 | 10％ | 実施中 | ○○○○○○○○○○○○○○○ |
| [社会システム改革と研究開発の一体的推進](http://www.jst.go.jp/shincho/23koubo/ss_youryou/23sensui_gaiyou.pdf) | ○○○○○ | ①32,000千円②8,000千円 | R2－R6 | 分担 | 5％ | (申請中) | ○○○○○○○○○○○○○○○ |

（1）一番上に本提案課題を記載してください。続けて、現在受けている、又は採択が決定している助成等について、研究費（期間全体）が多い順に記載してください。その後に、申請中・申請予定の助成等を記載してください（「ステータス」の欄に「（申請中）」等と明記してください）。

（2）「研究費」は、本人が受給している金額（間接経費含む）を記載してください。

（3）「役割」は、代表又は分担等を記載してください。

（4）「エフォート」は、年間の全仕事時間（研究活動の時間のみならず教育・医療活動等を含む）を100％とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率（％）を記載してください（総合科学技術会議における定義による）。本プログラムに採択されると想定した場合のものを記載してください。

**主たる共同研究者：氏名　○○　○○**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 制度名(1) | 研究課題名 | ①研究費(2)(期間全体)②　〃　　(R2年度)（千円） | 研究期間 | 役割(3)(代表者/分担者） | エフォート(4) | ステータス（実施中/申請中） | 提案課題との相違点・関連性 |
| 持続可能開発目標達成支援事業（本提案課題） | ○○○○○ | ①40,000千円②40,000千円 | R2 | 分担 | 10% | （申請中） |  |
| 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム | ○○○○○ | ①80,000千円②30,000千円 | H29－R4 | 分担 | 15％ | 実施中 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| 科学研究費補助金 基盤研究(S)  | ○○○○○ | ①70,000千円②25,000千円 | H29－R3 | 代表 | 10％ | 実施中 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○ |
| [社会システム改革と研究開発の一体的推進](http://www.jst.go.jp/shincho/23koubo/ss_youryou/23sensui_gaiyou.pdf) | ○○○○○ | ①32,000千円②8,000千円 | R1－R4 | 分担 | 5％ | 実施中 | ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ |

※主たる共同研究者の数に応じ、表を追加してください。

（次ページへ続く）

（前ページより続く）

様式5　研究費計画

|  |
| --- |
| ・費目別のJST委託研究費計画を記入してください。・JST委託研究費で執行可能な使途については、公募要領を参照してください。・採択された場合、記載された研究費計画で研究を行うこととなるとは限りません。 |

**1．JST委託研究費計画**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 研究代表機関名（代表者氏名） | 共同研究機関名（共同研究者氏名） | 共同研究機関名（共同研究者氏名） | 共同研究機関名（共同研究者氏名） | 合計(千円) |
| 設備費 |  |  |  |  |  |
| 材料・消耗品費 |  |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |  |
| 人件費・謝金 |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |
| 直接経費小計(千円) |  |  |  |  |  |
| 間接経費※1(千円) |  |  |  |  |  |
| 合計(千円) |  |  |  |  |  |

※1　間接経費は、原則、直接経費の30％として、委託研究費に含めることが可能です。その場合、

（間接経費）＝（直接経費）×0.3で算出ください。

＊ 消費税込みで積算してください。

＊ 共同研究機関の数に応じて列を追加して作成してください。共同研究機関の数が多い場合、

表を横向きで作成頂いても構いません。

**2．国外機関へ委託する業務およびその費用**

・旅費

　　　国外機関に所属する研究参加者にかかる旅費について、案件ごとに『用務内容・単価・回数・人数』を記載してください。

　　　*記載例：サイトでのサンプル収集・\10,000・4回・5人*

*○○学会での口頭発表・\500,000・2回・2人*

　・人件費・謝金

　　　国外で支出する人件費および謝金について、人件費に関しては『機関における雇用名称・単価・人数・雇用期間・エフォート率』を、謝金に関しては『業務内容・単価・人数・雇用期間』記載してください。

　　　＊人件費の支出対象はJSTと委託研究を結ぶ国内機関が直接雇用する者のみとなります。

　　　*記載例：（人件費）特任研究員・\4,500,000（年俸）・1人・1年間・50%*

*（謝金）　試作品テスター・\5,000（日当）・20人・1日*

　・その他

相手国内機関に対し研究開発要素を含まない請負業務を委託する場合、その『業務内容・費用』を

記載してください。

*記載例：圃場の維持管理・\1,000,000*